

平成 31 (2019) 年度修士課程外国人留学生入学試験からの  
社会基盤・都市社会系における入学試験の変更について

京都大学大学院工学研究科 社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻

◎ 「口頭試問 I」 の配点・試験時間・出題範囲について、以下の通り変更の予定である。

【「口頭試問 I」 の配点と試験時間について】

旧 :

口頭試問 I (400 点/1000 点)

下記の 5 分野を中心に、受験生が本専攻入学後実施する研究内容に関連する専門分野の基礎学力および数学について 15 分程度の口頭試問を日本語または英語で行う。

新 :

口頭試問 I (550 点/1000 点)

下記の 5 分野を中心に、受験生が本専攻入学後実施する研究内容に関連する専門分野の基礎学力および数学について 20 分程度の口頭試問を日本語または英語で行う。

【「口頭試問 I」 の出題範囲について】

旧 :

科目名	出題範囲
(4)計画理論	線形計画法、非線形計画法、動的計画法、ゲーム理論、ネットワーク手法、費用便益分析、重回帰モデル
(5)資源工学	岩石・岩盤の力学的性質と試験・測定法、地質調査法、応力とひずみ・変位、Airy の応力関数と 2 次元弾性問題

新 :

科目名	出題範囲
(4)計画理論	線形計画法、非線形計画法、動的計画法、ゲーム理論、ネットワーク手法、費用便益分析、重回帰モデル、都市・地域計画、交通計画
(5)資源工学	弾性波・電磁波の基礎と反射・屈折・回折、弾性波探査（屈折法、反射法）及び電気・電磁探査法の理論、物理計測の基礎（力・変位、運動・振動、流体、温度の計測）、センサーの応答特性、計測のための電気電子回路

◎ 「口頭試問 II」 の配点・試験時間について、以下の通り変更の予定である。

旧 :

口頭試問 II (400 点/1000 点)

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容に関する口頭試問を日本語または英語で行う。パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 10 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 15 分程度）。

新：

口頭試問Ⅱ（250点/1000点）

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容に関する口頭試問を日本語または英語で行う。パソコン・液晶プロジェクター等を用いた5分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて10分程度）。

※詳細につきましては、平成31年度修士課程外国人留学生学生募集要項（平成30年11月上旬に公開予定）にて公表しますので、必ずご確認くださいよう、お願いいたします。

問い合わせ・連絡先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

社会基盤工学専攻 入試担当 TEL：075-383-2967